

ディスクロージャー誌2021（上半期）

JA上伊那の現況

令和3年度：上半期事業（3～8月）

この冊子は、JA上伊那の令和3年度上半期の事業概要をお知らせする資料です。

* 資料をご希望の方は窓口へお申し出ください。

令和3年10月

上伊那農業協同組合

上半期の事業概要

平素より、JA上伊那の事業につきまして深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年度上半期の当組合の現況について報告いたします。

まずはじめに、7月から8月の大雨・豪雨災害により上伊那管内を含め全国各地で甚大な被害が発生しました。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げると共に一日も早い復旧をお祈りいたします。

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的な緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による飲食店等の時短営業や休業、リモート対応等、新しい生活様式（ニューノーマル）へと変化しています。信用事業は、地域の皆さまからお預かりしている貯金額が2,993億7,896万円となり、貸出金は農業資金のニーズにあわせた商品の提供、JA住宅ローンやJAネットローンの利用により750億7,638万円のご利用をいただき堅調に伸長しております。販売・購買・共済事業も引き続き多くの皆さまにご利用いただき、一部事業において計画未達なもの、事業全体は概ね計画通りの実績となり、組合員・利用者の皆さまの事業へのご理解、ご利用の賜物と深く感謝申し上げます。

農業を取り巻く情勢につきましては、国際貿易交渉が進展し、大幅な市場開放、農業者の減少や高齢化の加速に伴う担い手不足や耕作放棄地の増加による生産基盤の弱体化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による消費活動の変化、多発している自然災害の発生は、農業の維持継続が懸念される状況となっており、国の多様な経営形態に対応した生産基盤対策の維持と強化が求められています。

本年度の事業活動につきましても新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、感染防止を最優先に取り組みざるを得ませんが、「将来も食と農で笑顔が生まれる上伊那づくり」をめざした長期構想・3ヵ年計画の最終年度として、各施策を着実に実践しデジタル化への対応・業務効率化とサービス向上に取り組んでまいります。また、10年後もなくてはならないJAの実現のため、「持続可能な上伊那農業の実現」、「食と農を基軸とした協同組合の役割発揮」を目標とした次期3ヵ年計画の策定を全役職員にて進めております。

今後も農を基盤に組合員・利用者の皆さまに喜ばれる事業サービスを提供できますよう努力を続けてまいりますので、JA事業のなお一層のご理解とご利用をお願い申し上げます。

令和3年10月

代表理事組合長 御子柴 茂樹

I 地域貢献に関する取り組み

1. 全般に関する事項

当組合は、伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する組織です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さまや、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの事業活動を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

2. 地域からの資金調達の状況

地域の皆さまからお預かりした貯金・積金の残高は、8月末において2,993億7,896万円となっております。当組合では、信州各地の温泉施設等で何度でもサービスが受けられる「湯遊定期積金」、58歳以上65歳以下限定の金利上乘せ定期貯金「虎の子」など県下統一商品のほか、食と農の応援積立「JINOMON～地のもん～」、特典付積立式定期貯金「虹のかげ橋」などのJA上伊那オリジナル商品を取り扱い、顧客満足度向上に取り組んでおります。

3. 地域への資金供給の状況

地域の皆さまへの貸出金の残高は、8月末において750億7,638万円となっております。この内訳は、組合員等への資金供給630億2,307万円、地方公共団体89億6,221万円、その他30億9,108万円です。

当組合では、地域農業者等の資金ニーズに合せ、農業施設の建設、農業機械の購入資金に対応する農業近代化資金などの制度資金や、農業経営の安定を目的とした営農運転資金等、農業経営の向上に資するために幅広い資金対応を行っております。また、生活資金においては、JA住宅ローン「住宅王」などを用意し、地域住民の皆さまの生活の向上に貢献できるよう努めております。

4. 文化的・社会的貢献に関する事項

地域文化との係わりとして、地域行事への参画、学校給食への地元農産物の提供に係る支援、農業体験教室、各種農業関連イベントなどの開催等、農業を通じた地域との交流を積極的に行っておりますが、本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベントが中止となりました。

今後も引き続き、地域の皆さまに貢献できるよう広報誌やインターネットを通じた情報提供に心がけ、より一層の地域貢献ができるよう努めてまいります。

5. 農業振興活動

(1) 農業者等の経営支援に関する取り組み

- ・生産規模拡大や生産性向上に取り組む生産者に対し、施設や機械等の導入にかかる費用の助成を行うことにより、その取り組みを後押しし農業所得の増大につなげることを目的とした農業生産拡大支援事業「未来Aーサポート」に取り組んでいます。
- ・意欲ある地域農業の担い手及び農業に新たに参入する人が、管内の農業者として独立し、効率的、安定的な農業経営ができることを目的とし、市町村等と協力して「農業インターン研修制度」に取り組んでいます。

(2) 農山村漁村等地域活性化のための融資をはじめとする支援への取り組み

- ・多様な担い手の経営安定・向上に資する農業メインバンク機能を発揮するため、地域農業のメインバンク機能強化に取り組んでいます。管内12支所を拠点に、融資担当者が農業者等を訪問する「出向く体制」を強化し、担い手農業者の資金ニーズ、経営相談対応等を通じた関係性強化に努めています。
- ・担い手農業者の多様化するニーズに対応できる人材確保及び農業融資に精通した人材育成に向け、日本政策金融公庫農林水産事業の実施する「農業経営アドバイザー」及び農林中央金庫の実施する「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得に取り組んでおります。令和3年8月末現在の累計資格取得者は、農業経営アドバイザー20名、農業金融プランナー61名となっております。

(3) 資金ニーズに応じた担い手支援

- ・新規就農者の経営と生活を支援するため、各種就農支援資金を取り扱っています。
- ・農業者からの資金ニーズに対応するため、各種農業資金をご用意しています。長野県JAバンクが取り扱う農業経営に必要な運転資金の利便性確保を目的とした商品「農業経営ローン（ゆたか）」、農業者の生活資金を支援することを目的とした商品「ワイドカードローン（みどり）」のほか、農業振興に資するための資金として当組合独自資金の「豊年満作」を取り扱い、利用拡大に取り組んでいます。

(4) 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の取り組み

- ・農業経営の安定化、効率化をはかる目的の農業金融強化策として、「JAバンク利子補給制度」を実施して、農業者・農業経営体に対する借入負担の軽減をはかることで農業経営をバックアップし、成長に向けた支援策に取り組んでいます。

II 財務状況や事業に関する開示項目

(表中の表示単位未満の端数は切り捨てておりますので合計金額に差が生じる場合があります。)

1 金融再生法開示債権 (単体)

(単位: 百万円)

債権区分	令和3年8月末	令和3年2月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	295	314	▲ 19
危険債権	593	607	▲ 14
要管理債権	35	36	▲ 1
正常債権	74,217	72,853	1,364
合計	75,141	73,812	1,329

2 単体自己資本比率 (国内基準適用)

(単位: %)

令和3年8月末	令和3年2月末
16.25	16.46

単体自己資本比率はBIS規制の基準に基づき算出しています。なお、8月末の単体自己資本比率の算出にあたって、令和3年2月末のオペレーショナル・リスク相当額を使用しております。

3 主要勘定の状況

(1) 信用事業

・信用事業取扱実績

(単位: 百万円)

	令和3年8月末	令和3年2月末	令和2年8月末
貯金	299,378	294,401	290,624
貸出金	75,076	73,750	72,821
預金	218,421	216,697	211,489
有価証券	4,776	4,692	5,128

・有価証券時価情報

(単位: 百万円)

種類	令和3年8月末			令和3年2月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
その他	4,503	4,776	273	4,504	4,692	188
合計	4,503	4,776	273	4,504	4,692	188

- 1 令和3年8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。
- 2 取得価額は償却原価法適用前、減損処理前のものです。

(2) 共済事業

	令和3年8月末	令和3年2月末	令和2年8月末
新契約 (万ポイント)	1,491	2,733	1,581
保有契約 (万円)	97,705,960	99,777,624	101,533,609

(3) 販売事業

・農畜産物販売高

(単位：千円)

	令和3年8月末	令和3年2月末	令和2年8月末
米 穀	536,357	4,171,777	584,354
果 実	89,401	931,758	72,748
野 菜	985,873	1,962,266	1,017,389
き の こ	776,175	2,071,100	831,408
花 卉	628,548	1,293,314	538,659
畜 産	820,356	1,419,087	688,233
そ の 他	479,710	1,223,989	523,090
合 計	4,316,424	13,073,295	4,255,886

(4) 購買事業

・購買品取扱高

(単位：千円)

	令和3年8月末	令和3年2月末	令和2年8月末
営農資材	2,413,600	3,819,894	2,292,630
農業機械	640,193	1,093,542	610,240
直売店舗	295,828	630,806	272,600
生活エネルギー	1,509,087	3,078,453	1,417,810
合 計	4,858,709	8,622,697	4,593,282